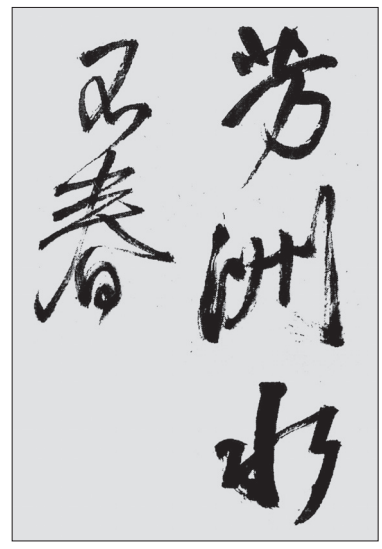


高橋香樹会長担当 半紙臨書課題

(6月22日締切) 出品料440円

王鐸 (行書五律五首卷)

第四回
1、字句「芳洲水不春」



『王鐸集』(二玄社)

2、形式「半紙タテ使用。右に「芳洲水」左に「不春」と臨書し、左余白に落款「○○臨」と調和を工夫して書き入れる。

3、概観「王鐸の作品を見ていると、行書と草書では、だいぶ違うように感じる。今回課題としている『行書五律五首卷』と草書による作『草書七律五首卷』は、卷子による作だが、比較してみると、大きく異なるように思う。『行書五首卷』は、行書ゆえだろうが、連綿線は少なく一割もないくらいである。それに比べて『草書七律五首卷』は、およそ八割はあ

るのではないかと思われる。
先月四月号の条幅参考課題に「似古人」とあります。連綿線だから弱くといった線ではなく、渴筆とはなっていますが、他の実線と差がない線で書いている。連綿していくと、どうしても回転が多く、長くなり、その分、逆に直線をきちんと踏まないことには回転が生きてこない。曲と直、相反するものを常に同居させている点が巧みなところだと思います。

4、各字のポイント
芳 草冠を左に寄せ、「方」の長横画を右に大きく上げる。
洲 三ズイ幅狭く、「州」の二画目から三画目は意連綿。
水 一画目の右側を広くとる。
不 形はやや小粒。終画は「春」に連綿。

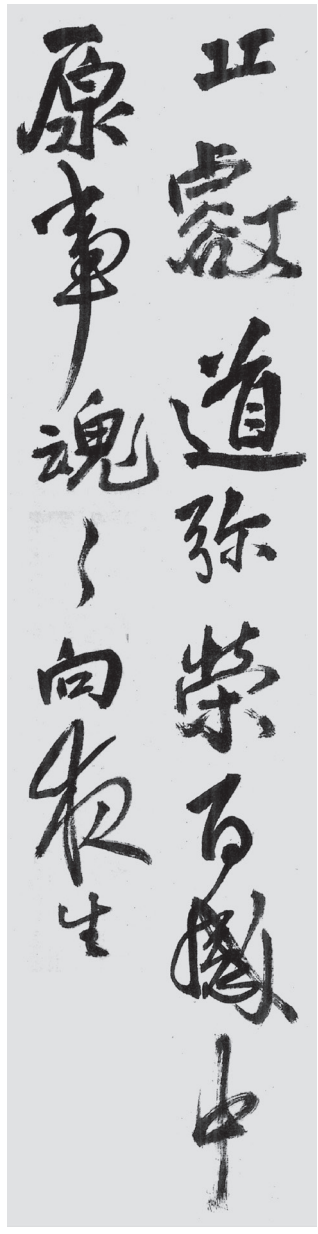
春 横三画は同じ運筆で同じ方向。五画目は「日」に連綿。

一字書課題 (6月22日締切)

散

- (1)書体自由 (2)半紙タテ
- (3)落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4)出品料 四四〇円
- (5)バーコード券の余白に「一字書」と記入

条幅随意参考



『王鐸集』(二玄社)

丘壑道彌榮 百感中原事 魂魄向夜生
丘壑道は弥いよ栄ゆ 中原の事に百感すれば 魂々 夜に向いて生ず
意味：丘や谷に道はますます栄える。中原の戦乱には限らない思いが、数知れず夜中にわいてくる。

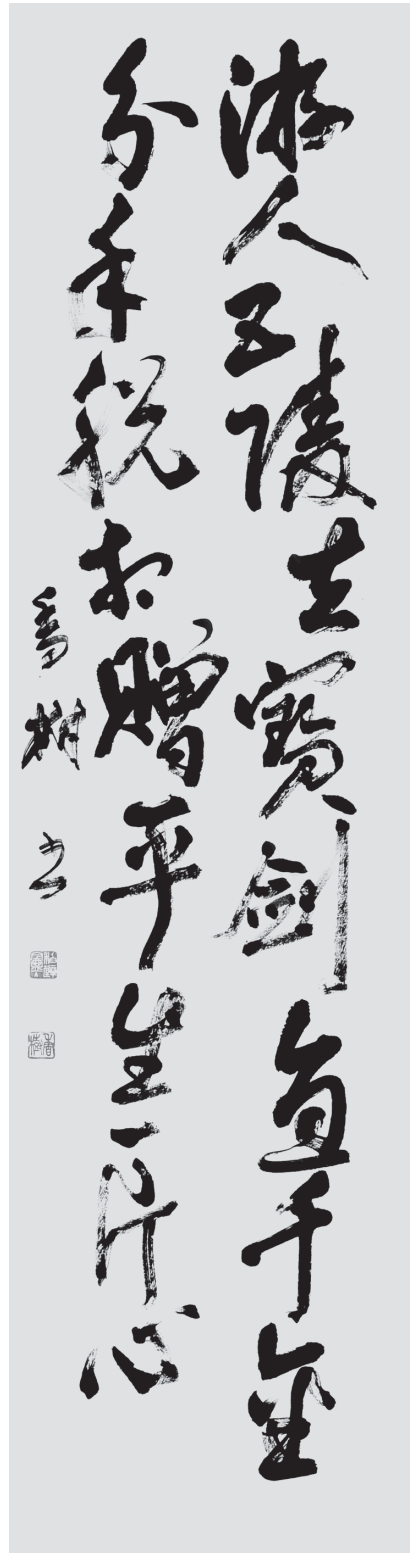
※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部(無料)にも出せます。条幅部に出品する場合はバーコード券余白に「条臨」と記入。

条幅部漢字課題参考

(六月二十二日締切)

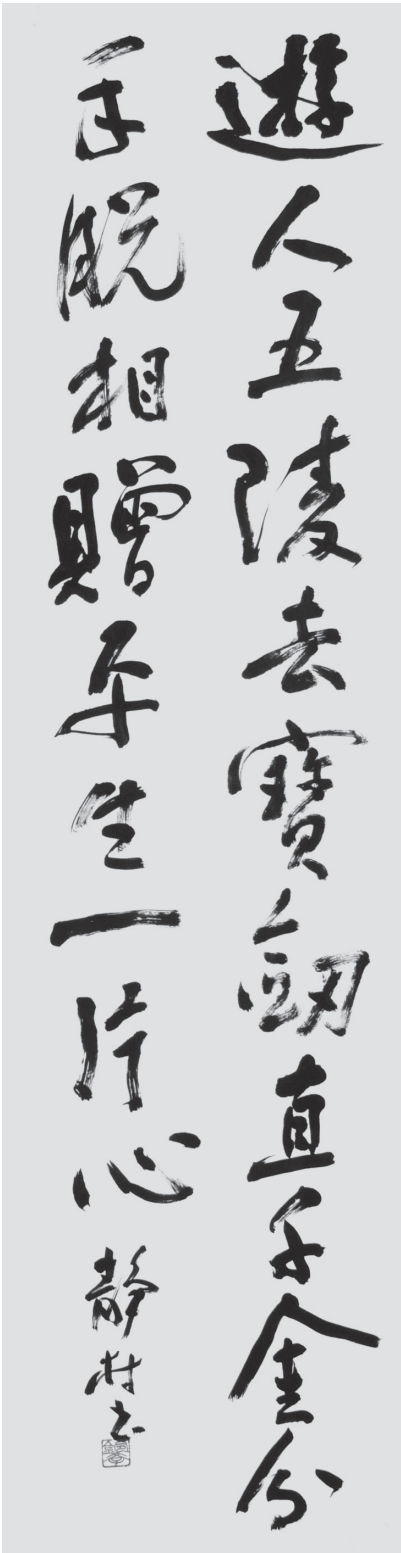
A
高橋香樹会長書

游人五陵去 寶劍直千金 分手脱相贈 平生一片心 (孟浩然)
游人五陵に去る。宝剣直千金。手を分つとき脱して相贈る。平生一片の心。



B
鈴木静村先生書

今回の課題は二十字なので、二行にするか三行にするか悩みました。三行にて書いたが思うようにならず、結局二行書としました。文字の大小、行の変
化を意識した作としました。書体は、草書を中心とし、行書をわずかに導入。墨継ぎは、「直」と「想」。



五絶20文字に取り組む。ゆったり感が主調。意連続は運筆の微妙な流れでの瞬時の表われ、気持ちのつながりが大切。陵 古典この形が多い。去 点は
離して打つ。直 墨継ぎ。金 五画目突き出し宋代に多い。手脱 渴筆部分、墨の出大切に。贈 墨継ぎ、字幅を。片 一画目反りに留意。

訳：旅人は五陵へと旅立つ。そのはなむけにふさわしい宝剣は、値千金にあたる。別れにあたり君にお贈りする。これが平素から君によせている心のしるしなのだ。

予告 (七月二十二日締切) 不是習家池上飲 傍人休笑醉如泥 (張元禎・明)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

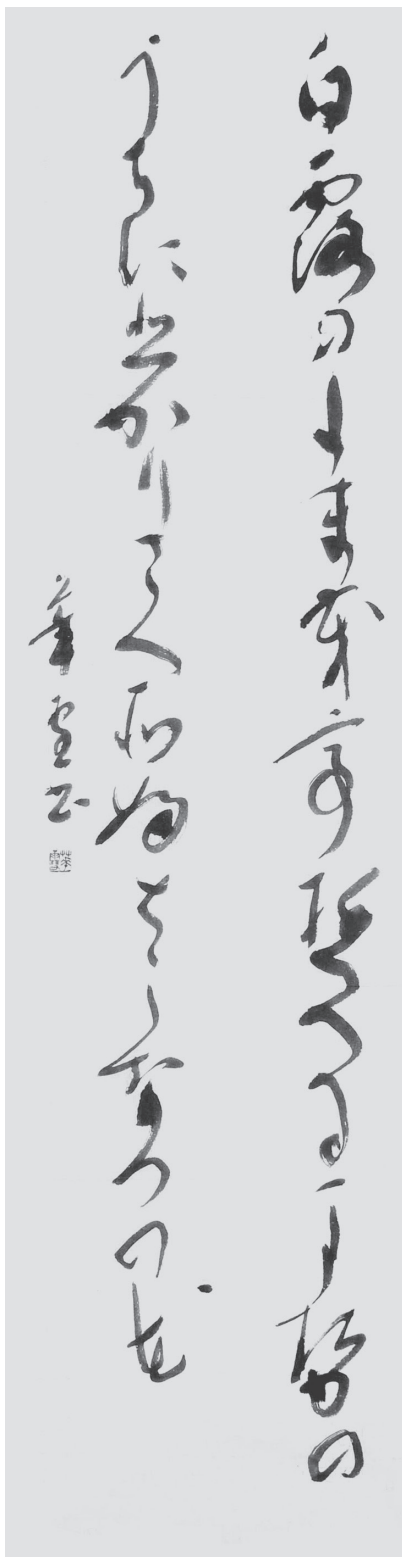
条幅部かな課題参考

(六月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

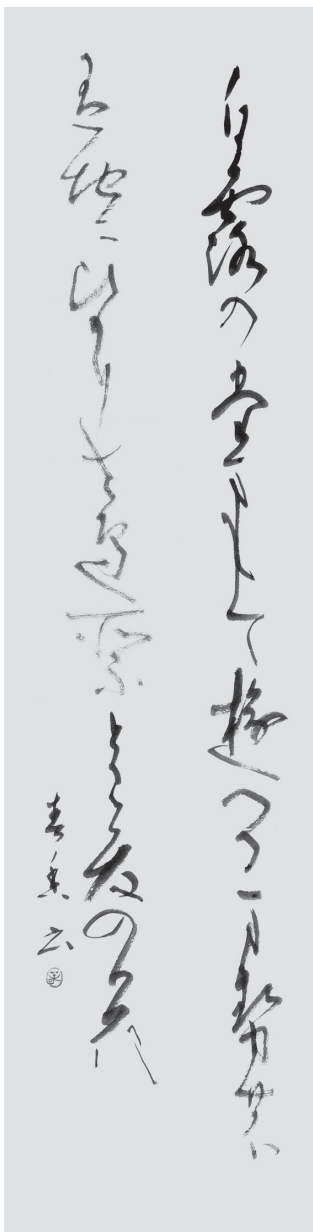
白露の玉もてゆへるませのうちに光さへそふ常夏の花(新古今和歌集 高倉院御歌)
白露の多ま茂亭遊へる万勢のうちに悲かりさへ所婦とこなつの花



B

石原春香先生書

白露の堂万もて遊へる万勢農有地二ひ可りさ邊所ふとこ夏の花



『新古今和歌集』は、後鳥羽院の勅命で編纂された勅撰和歌集で鎌倉時代初期成立。繊細、優雅、幽玄な新古今調を体現した歌人の西行、慈円、藤原俊成、藤原定家、藤原家隆、寂蓮等を代表的な作家とする。

学び方

歌意：白露の玉(なみだの象徴)をむすびつけた様な垣根の中に光までそえて咲いているとこなつの花よ
高倉天皇の准母(平盛子)を悼んでよんだとされている。
准母を思い涙する歌に「ひかりさへそふ」と白露を表現したところに心のゆれを表わす動きをつけ、カスレをもって表現してみた。

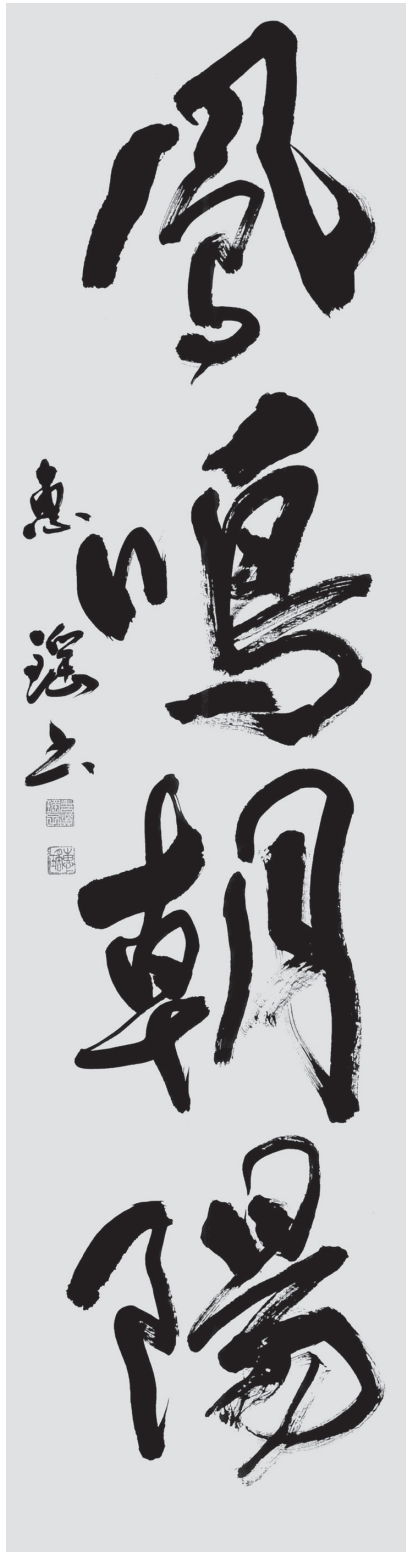
予告 (七月二十二日締切)

はつ蟬の聲ぞと聞けばはたと止みて再び鳴かず朝の若葉なり(土岐善麿)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部随意参考 (創作部門最優秀作品)

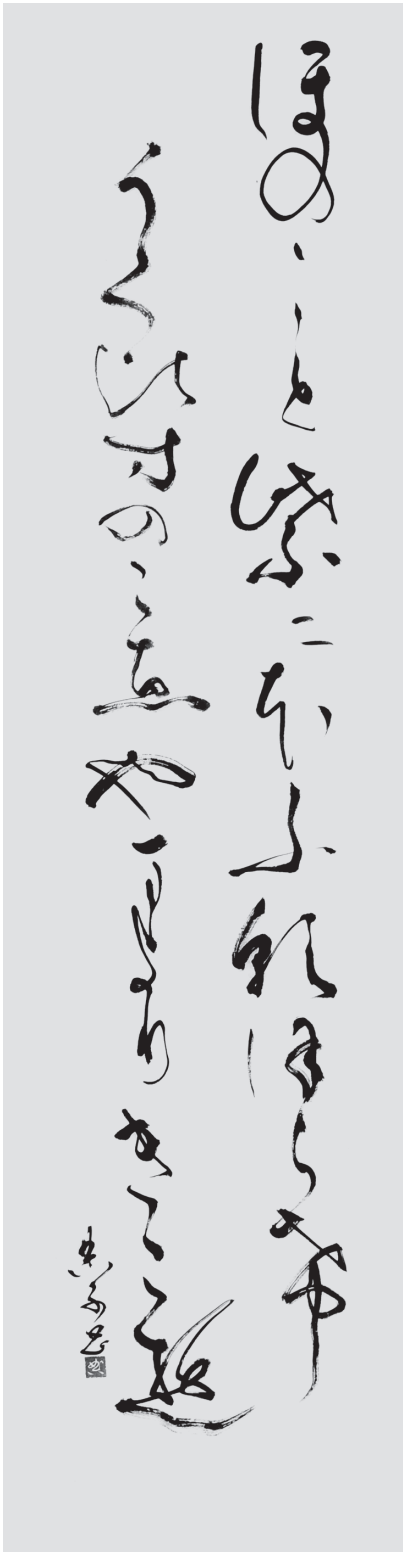
恵華 吉濱 恵瑶 鳳鳴朝陽



意味：鳳凰が山のひがしに鳴く（太平の瑞祥（詩経）、また珍重すべき発言にもいう）。

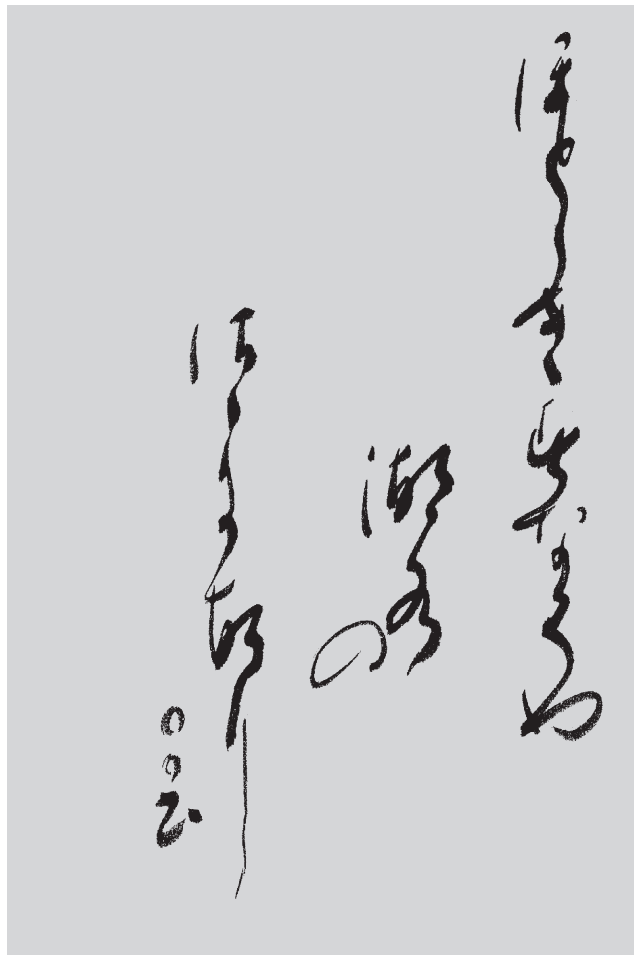
柗 赤木典子

ほのぼのと紫匂ふ朝ぼらけうぐひすの声山よりきこゆ
ほのゝと紫二本ふ朝保ら希う久比寸のこ恵や万よ利きこ遊（清水比庵）



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）
- ※創作部門最優秀作品は随意部参考手本として掲載します。

かな部課題参考 (六月二十二日締切)



平岡華雪先生書

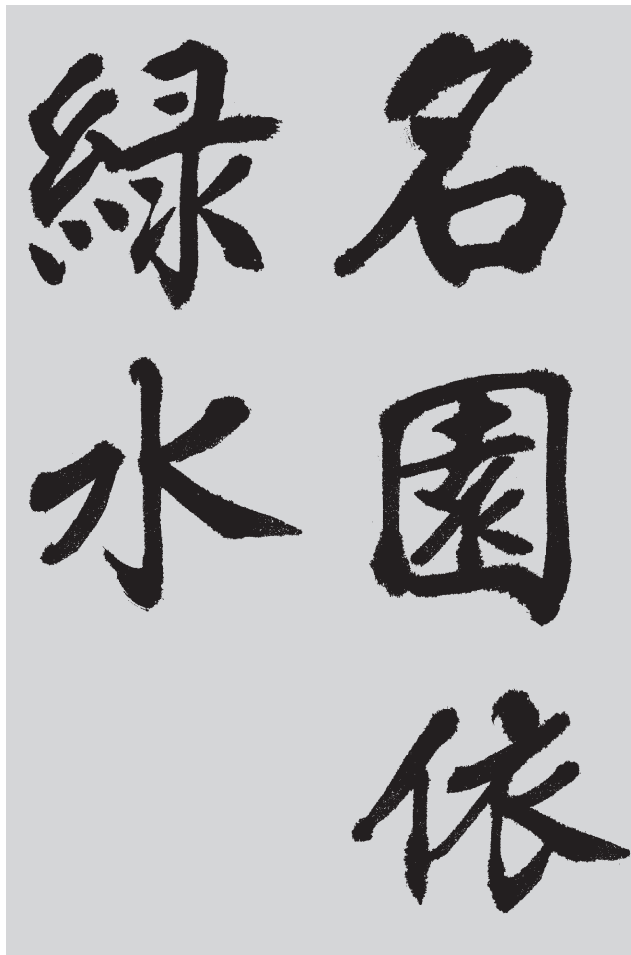
ほとときす鳴くや湖水のささにこり(丈草)
ほと、き春な久や湖水の佐、尔故り

〈変体かなの習熟を〉
下五の「佐々尔故り」は、華雪先生独特の変体かなを主調とした連綿手法。繰り返し続け「リズム」を会得することです。末「り」の長縦画をスッキリと。

(七月二十二日締切)

閑さや岩にしみ入る蝉の声(芭蕉)

漢字部課題参考 (六月二十二日締切)



平岡華雪先生書

名園緑水に依り(杜甫)
訳：名だかい園は緑の川に臨んでお

〈楷書としても古典に多い形〉
・園「袁」部、古典は「袁」この形、
「素」「猿」も同じ。
・水、末画の始筆をタテ画の左に覗かせた形。
初唐三大家の楷書に多い。

(七月二十二日締切)

雨過土生香(陸游)

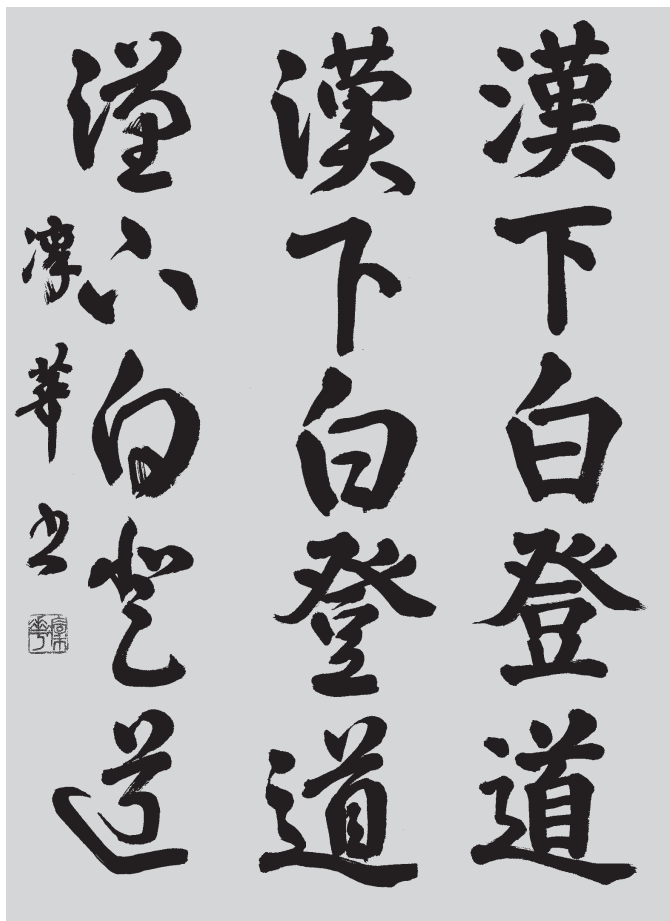
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例：「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考 (六月二十二日締切)

漢字かな交じりの書課題参考 (六月二十二日締切)

訳：漢の軍隊は、白登山の道を進みゆき



勝間 凜華 先生書

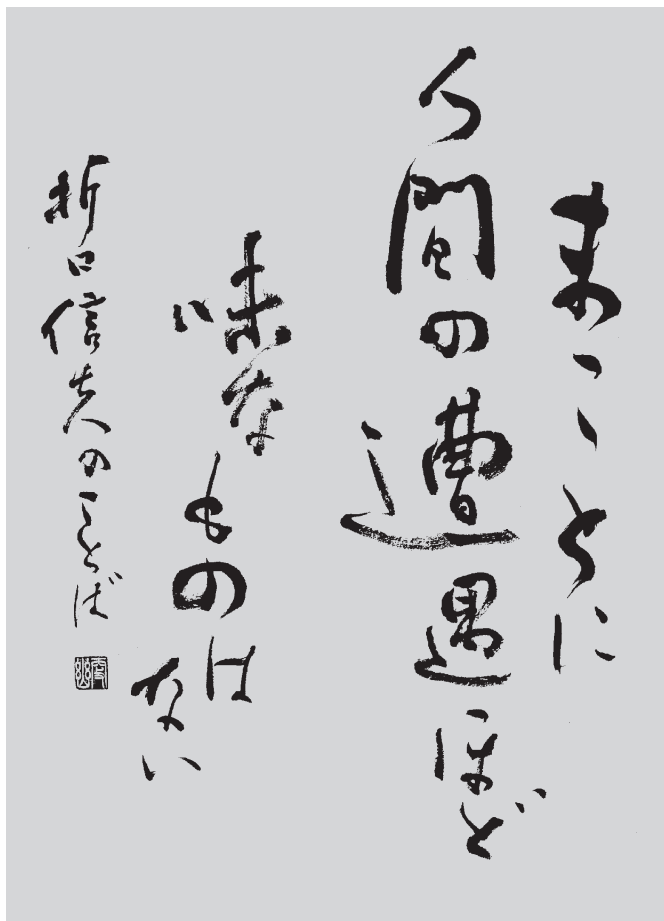
漢下白登道 (李白)

漢は下る 白登の道

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

鈴木 静村 先生書

まことに人間の遭遇ほど味なものはない (折口信夫)



折口信夫 (おりぐち・しのぶ) 国文学者、歌人 (釈迦空)、大阪の人。
 主な著書「古代研究」、歌集「春のことぶれ」、詩集「古代感愛集」など。(1887~1953)
 ○18文字の現代文を漢字かな交じり体として大書。形のうえでは右群と左群。中央の上下に余白の大小を打ち出し、左群の「も」字で墨継ぎ、左下へ流れ、「ない」で締め。
 落款にも大小、潤濁の工夫を。名前(雅号)を書き入れも可。
 ○これぐらいの大きさならば、腕を上げて書くことをお勧めしたい。要はのびのびと書いてほしい。

※ 6月7日(日)全国書苑の集い講演会にてアドバイスを受けられます (書苑四月号表紙②参照)

(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

随意部参考

随意部参考

黄庭堅 松風閣詩卷

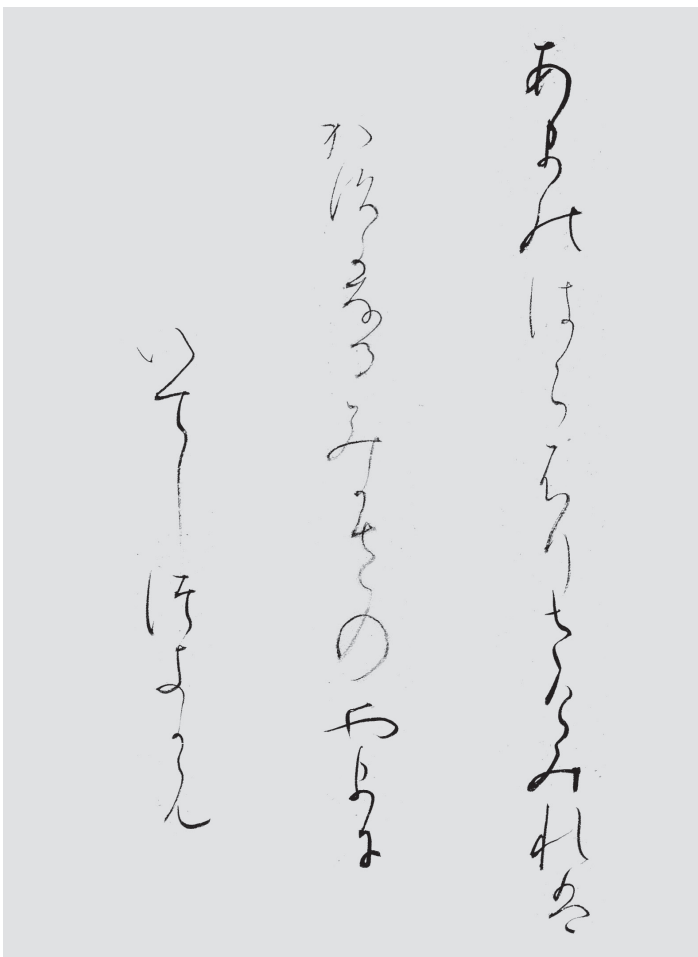
東坡道人



※東坡道人：蘇軾（一〇三七～一一〇一）の別名・雅号の一つ。「故宮法書選5」（二玄社）
 北宋時代の著名な詩人・文豪・政治家・書家。

高野切第一種 伝紀貫之筆

あま能はら不りさ介みれ盤か須可奈る美可さのやまにいでし徒支可无



※字づめ・散らし自由

(二玄社)

(1)随意部参考として出品してください。臨書作品の場合は、落款を「〇〇臨」と書き入れる。(2)会員外の出品料は460円。

硬筆部 課題参考

(六月二十二日締切)

生駒紅泉先生書

稲畑暉穂先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

ふと気がついてみると、ぼくは
眠りこけてゐる猫に声を出して
話しかけているのだった。

雨になると、それはそれで、こころが
惹かれた。五月雨にぐしょ濡れに
なる木々や、水を湛えた青田が
素晴らしくかった。

課題 1 (初段階以上)

雨になると、それはそれで、こころが惹かれた。五月雨にぐしょ濡れになる木々や、水を湛えた青田が素晴らしくかった。

『西行花伝』辻 邦生

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題 2 (初段階以下)

ふと気がついてみると、ぼくは眠りこけている猫に声を出して話しかけているのだった。

『タマヤ』金井美恵子

研究部課題

(六月二十二日締切)

(課題) 現代歌(句)

薔薇を描きあげてパレット繪のごとし

(作者) 橋本美代子

▽注意

- (1) 半切縦使用 (2) 散らし自由
- (3) 漢字・かな遣いは課題通り
(変体がな不可)
- (4) 落款は「一陽書」と書き入れること。
雅印は無用。(出品者の本名又は雅号
を書き入れた作品は不可)

▽出品要項

(1) 資格—推薦、準推薦、推薦合格格者

(漢字・随意・かなのいずれかで推薦
格以上であればよい。また同人、準
同人も歓迎)

- (2) 締切—六月二十二日必着
- (3) 成績発表—書筵八月号誌上
- (4) 出品料—九四〇円同封
- (5) 出品方法

ア、出品は一人一点とする。
イ、出品票(私製)を作品の左下に
ぶら下げて貼付する。

※バーコード券は不要。

※春季昇級試験で初めて推薦・準推薦・
推薦格に合格した方も是非取り組んで
ください。